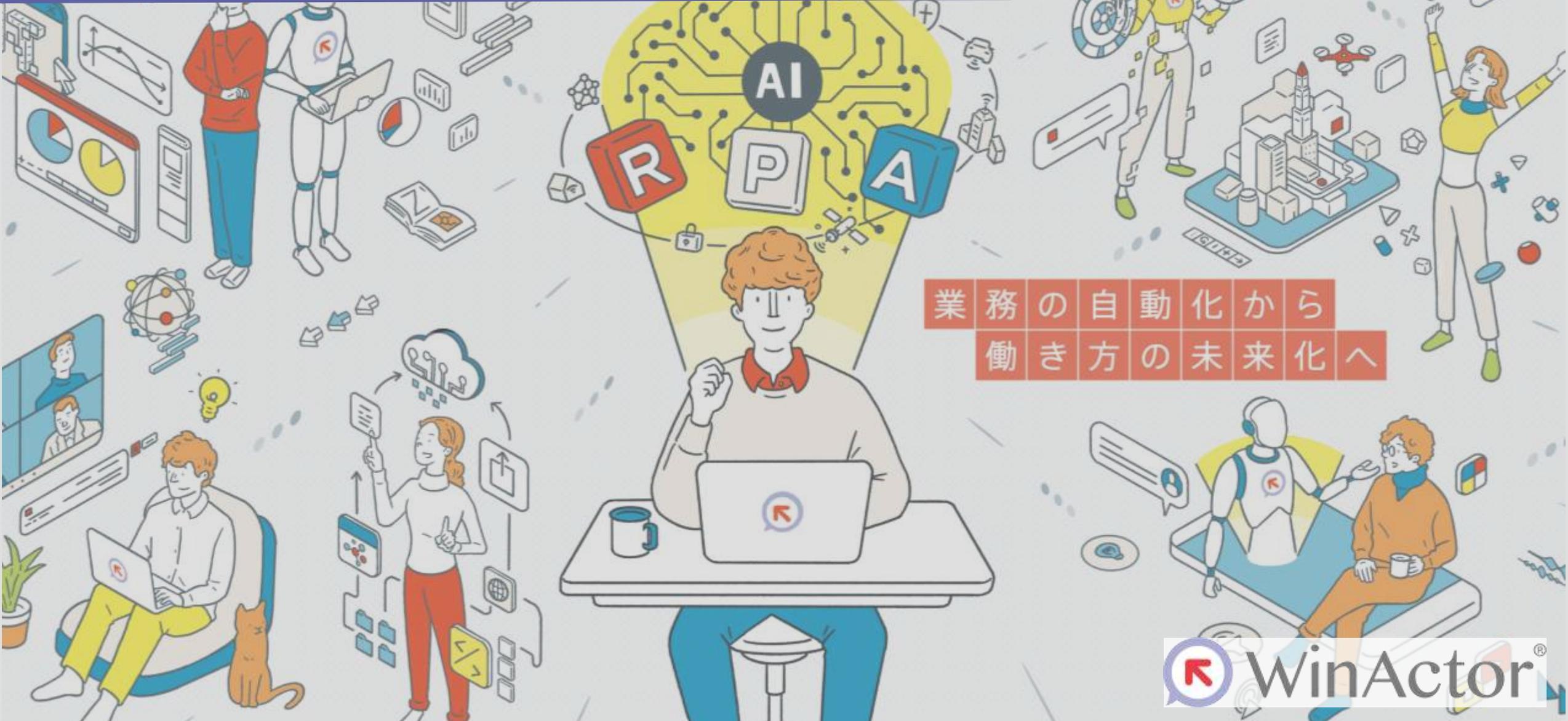


# WinActor製品紹介資料



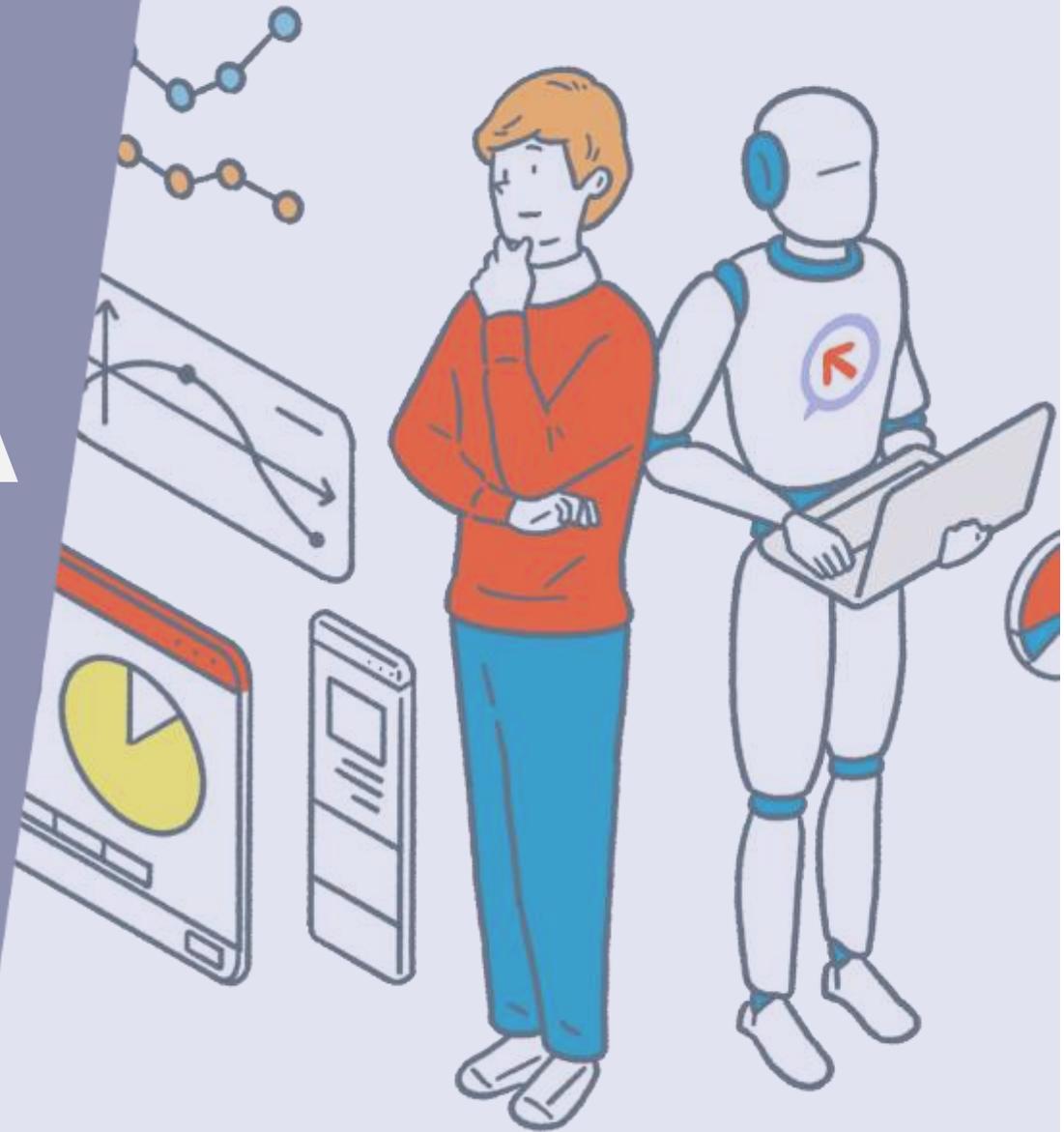
業務の自動化から  
働き方の未来化へ



# WinActor製品紹介資料 目次

1. 現場フレンドリーなRPA WinActor
2. WinActorが現場フレンドリーな3つの理由
3. WinActor導入事例
4. 製品ラインナップ

# 現場フレンドリーなRPA WinActor



# RPAとは (1/3)



- RPAは一般社団法人日本RPA協会により、以下のように定義されています。

“RPA(Robotic Process Automation)は、  
これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくは  
より高度な作業を**人間に代わって**実施できる  
ルールエンジンやAI、機械学習等を含む**認知技術を活用した**  
**業務を代行・代替する取り組み**です。”

——— 日本RPA協会HPより

# RPAとは (2/3)

- RPAとは認知技術（テクノロジー）を活用して人間に代わって業務を代行・代替する取り組みのことです。人とRPAによる業務の特徴を比べました。

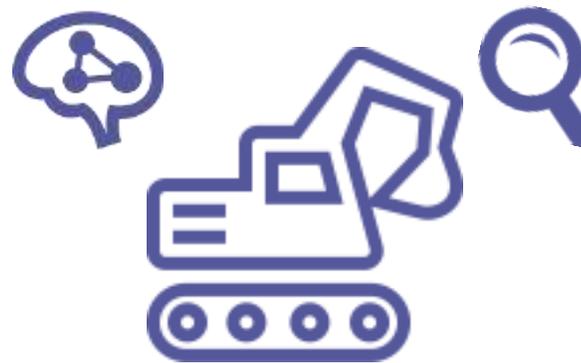
## 人が手作業



- ✓ミスする
- ✓疲れる
- ✓属人化しやすい



## RPAが代行・代替

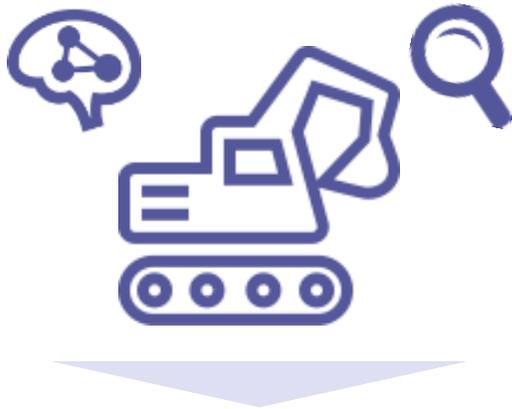


- ✓ミスしない
- ✓疲れない
- ✓標準化する

# RPAとは (3/3)

- RPAによる代行・代替(自動化)と業務の特徴から得られるメリットは以下のようなものです。

## RPAが代行・代替



空いた時間を  
人にしかできない業務に  
シフトできる

### ✓ミスしない

- ・ミスによる手戻りが起きない
- ・ミスのプレッシャーから解放される

### ✓疲れない

- ・24時間はたらくことができる
- ・自動化で人の長時間労働を減らせる

### ✓標準化する

- ・アナログな業務をデジタル化し可視化できる
- ・RPAを実行するだけで誰でも業務ができる

# RPA導入が進む背景



- 近年、政府主導で「働き方改革」が推進され、また企業活動のデジタル化を目指す「DX (Digital Transformation)」の気運が高まり、業務の自動化ツールであるRPAが注目されてきました。2020年には「新型コロナウイルス対策」として企業にとって業務のテレワーク化が社会的に求められており、RPAによる業務の自動化はより一層注目されています。

## RPA導入が進む背景

政治・働き方改革

経済&技術・DXの気運

社会・新型コロナウイルス対策

## RPA導入が寄与すること

自動化による業務効率化

アナログ業務のデジタル化

テレワーク化で社員を守る

# WinActorの誕生ストーリー



- WinActorはNTTの現場の困りごとを解決するために誕生しました。



## 現場のために研究開発

業務への新システム導入が進み、

- ・新旧システムのギャップが生じる
- ・新旧システム間連携はオペレータが実施
- ・冗長かつ単調な作業で現場の負荷が大きい

課題をよく知っているのは現場だが、  
当時のツールではプログラミングスキルが必須

現場でも使える操作性で、  
低コスト・短期間で開発可能なUMS\*を開発

## 現場での活用と改善

NTT事業会社の

- ・NTT回線のサービスオーダー受付
- ・NTT回線の名義変更
- などの業務にUMSを導入

530分/100件の業務を40分/100件に短縮する  
など大きな効果が出始める

より使いやすいUMSにするためNTT事業会社  
からフィードバックを得て機能改善

## 市場の現場に向け製品化

開発したUMSが社会的に需要があると議論され製品化



誕生以降も現場でWinActorを使用しているユーザー  
の声を聞きながら、より使いやすく、より作りやすい  
RPAツールを目指して機能を充実させ続けています。

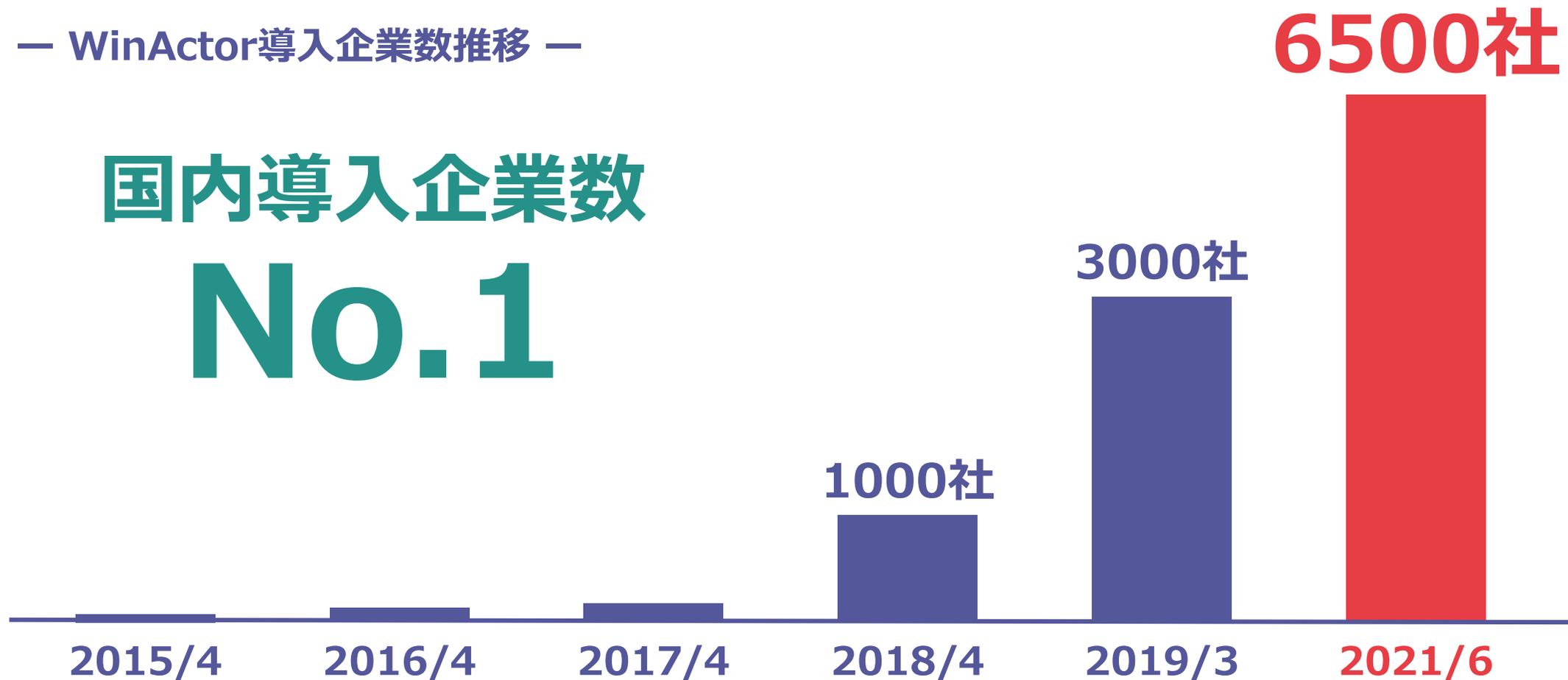
# WinActor導入企業数



- 2021年6月「現場フレンドリー」なWinActorを多くのお客様に選んでいただき、**導入企業数が6500社を突破**いたしました。

— WinActor導入企業数推移 —

国内導入企業数  
**No.1**



# 選ばれるWinActor



- “導入したRPA”のアンケートで第1位が WinActor となりました。（図1）
- WinActorの選定理由は「操作が簡単でわかりやすい」「導入が簡単ですぐに使い始められる」「価格が安い」などが上位を占めています。（図2）



図1 導入したRPA

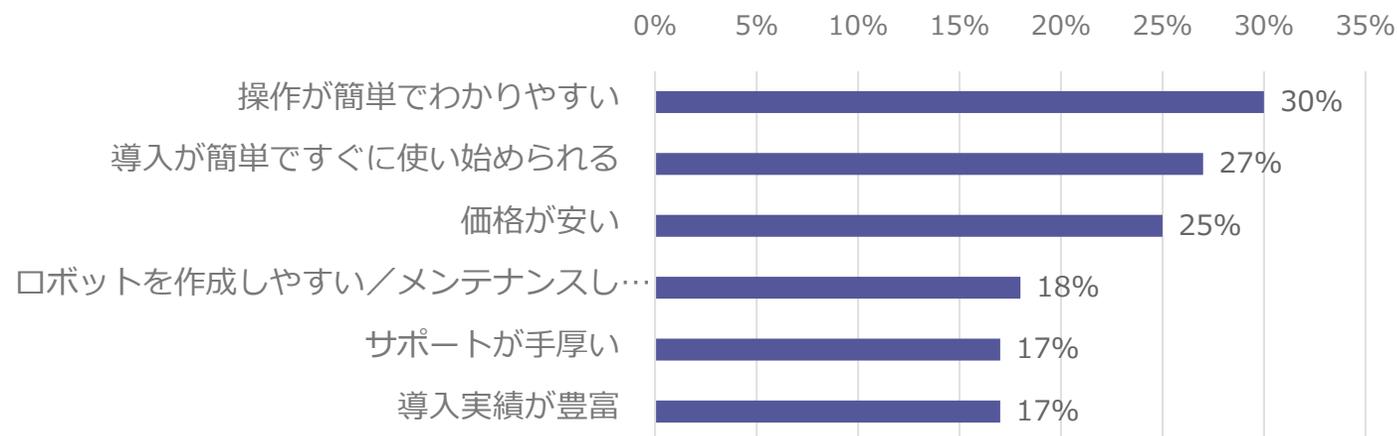


図2 導入済みユーザーにおけるWinActor選定理由

# 導入率No.1

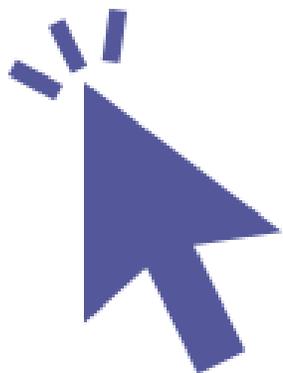
# WinActorが 現場フレンドリーな 3つの理由



# WinActorが「現場フレンドリー」な3つ理由



WinActorは現場にとって ——



**使いやすい**



**作りやすい**



**安心サポート**

だから「現場フレンドリー」

# 使いやすいから「現場フレンドリー」

- WinActorは現場の使いやすさを追究してきました。



## ✓ 長年現場の声を聞き続け洗練されたUI

2010年の研究開発開始から、現場のユーザーの声を聞き反映させ続けてきたことで、RPAという独特なツールのUIを、洗練されたものに仕上げました。

## ✓ 直感的に操作できる初心者向けシナリオエディタ\*

プログラミング要素を極力排除し、プログラミング未経験でもドラッグ&ドロップなどのマウス操作で直感的にシナリオ作成ができます。

# 使いやすい

## ✓ バージョンアップで向上した処理速度・画像認識精度

- ・ 処理速度向上により、シナリオ作成をより効率的に進めることができます。
- ・ 画像認識精度向上により、画像認識の幅が更に広がりました。

# 作りやすいから「現場フレンドリー」

- WinActorは現場目線で作りやすいRPAツールを目指しました。



## ✓ **日本企業の業務プロセスに適合したライブラリが豊富**

日本で生まれたWinActorは、企業独自のシステムやツールが多いといった日本企業特有の条件・業務プロセスにも対応し、シナリオの作りやすさを高めています。

## ✓ **よくある業務に即したサンプルシナリオが豊富**

WinActor bizサイトに公開されているサンプルシナリオをダウンロードして使うことで、より効率的にシナリオ作成することができます。

## 作りやすい

## ✓ **かゆい所に手が届くプチライブラリが豊富**

NTT-ATが現場の声を聞き、プチライブラリ(シナリオの部品)をWinActor bizサイトに公開。サンプルシナリオ同様、ダウンロードしてそのまま使うことができます。

# 安心サポートが「現場フレンドリー」

- WinActorは数々の安心サポートで現場をつまづかせません。



## 安心サポート

### ✓ 完全日本語対応

RPAツール画面、マニュアル、サポートなどすべて日本語対応しています。

### ✓ ユーザーをつまづかせないサポートツール

シナリオ作成チュートリアルや、検索できるWebマニュアルなどのサポートツールにより、WinActor導入につまづきません。

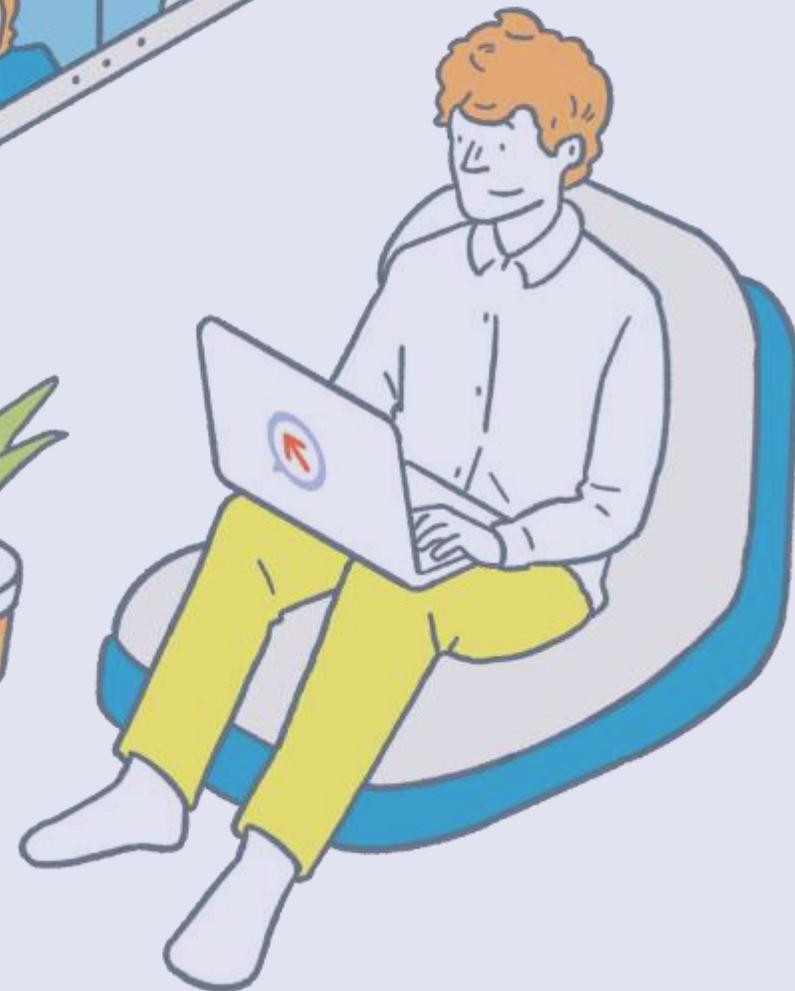
### ✓ 探しやすい充実したFAQ

導入社数の多さと販売代理店のネットワークを生かし、日々FAQを充実させています。

### ✓ 販売代理店の手厚いサポート

お客様のお悩みに応じて販売代理店が直接サポートします。

# WinActor導入事例





## アデコ株式会社様 ー常駐先業務環境の変更なしで効率化に成功ー

- アデコ様は、北陸電力様向けにコールセンターの常駐型アウトソーシング業務を行っていましたが、**採用難から稼働不足**となり業務効率化が課題となっていました。**常駐先システムやサーバなどの業務環境の変更や要員増強は難しく**、どのように解決するか悩んでいました。

### 導入企業プロフィール

業種：サービス業

導入期間：3年

従業員数：約3000名

導入体制：4名

### 導入企業担当者の声

“業務環境の変更が不要かつ現場でメンテナンスができるWinActorは、**常駐業務での利用に向いています**。”

アウトソーシング&ソリューション事業本部  
シニアスーパーバイザー 武井 崇様

## ー 現状と課題 ー

### 採用難による 稼働不足

売り手市場の影響で採用難が顕在化。稼働不足となり、業務効率化が切迫した課題となった。

### 常駐先業務環境の 変更制限

常駐先業務のため、サーバーやシステムなどの環境変更による効率化は困難であった

### 専任のメンテナンス 要員確保が難しい

自社からも顧客からも専任のRPAエンジニアをメンテナンス要員として配置することは困難であった。

## ー WinActorの選定理由 ー

WinActor®の特長



自動化による  
業務効率化



クライアント型で  
運用可能



現場でメンテナンス  
できる操作性

常駐先業務特有の課題解決にマッチ

## ー WinActor導入の効果 ー

**常駐先の環境変更なし**で業務効率化

**常駐先社内でも注目**されるほどの成果

## 馬場石油様 一属人化した見積書作成業務の自動化に成功

- 熊本県で石油配送事業をしている馬場石油様は**限られた人員で「働き方改革」を検討**していました。特に、日々変動する石油の単価、配送の距離と頻度から正確な見積額を算出しないといけない**見積書作成業務は複雑で属人化していることが課題**でした。

## 導入企業プロフィール

業種：石油販売

導入期間：3か月

従業員数：14名

導入体制：2名

## 導入企業担当者の声

“**どんどん適用範囲を広げていきたいと思っています。**  
**良いものだとわかっているので、もっとお近づきになれば。**”  
 IT担当 馬場桂子様

## — 現状と課題 —

限られた人員で  
働き方改革

限られた人員の中でも人的ミスが減らして、業務を標準化し、働き方改革を実現したい。

## 事業に適したパッケージシステムなし

単価が日々変わる石油配送事業に適したパッケージシステムがなく、外注開発はメンテナンスが課題。

## 見積業務の属人化

システム化されない見積書作成業務は手作業で複雑な処理が必要となり、属人化していた。

## — WinActor導入の取り組み —



WinActor以外の新規システム・ツール導入なしで**業務の自動化に成功**

## — WinActor導入の効果 —

**誰でも・短時間で・正確**な見積書作成ができるように

**100時間**の年間業務時間削減

## ニチレイロジグループ本社様 —WinActorの全社展開に成功—



- ニチレイロジグループ本社様は働き方改革に取り組み、事務業務の軽減を中心施策のひとつに捉えていました。しかしExcelやAccessを自動化ツールとして活用してきたものの、**個人のノウハウに依存しブラックボックス化しやすく展開に繋がらない**という課題を抱えていました。

## 導入企業プロフィール

業種：物流

導入期間：3か月

従業員数：約5000名

導入体制：5名

## 導入企業担当者の声

“業務を「いい方向に変えよう」とするマインドが生まれ、事業所のコミュニケーション活性化にもつながっています。”

業務改革推進部 部長代理 勝亦充様

## — 現状と課題 —

## ブラックボックス化により展開困難

ExcelやAccessでは個人の知識やノウハウに依存し、ブラックボックス化しやすく展開が困難だった。

## 「自動化」へのマイナスイメージ

現場では「自動化」に対するマイナスイメージが残り、展開に対して協力が得づらくなっていた。

## 自社のリソース不足

展開後を想定すると、出張やオンサイト対応ができ、技術面でサポートできるリソースが必要。

## — WinActor導入・展開の取り組み —

特定の事業所でWinActorを試用し成果を出したのち以下の施策に取り組みました。

- ・社内WA活用事例動画を作成しメリットを普及
- ・50回の業革セミナー開催（のべ700名以上参加）
- ・女性限定WinActor開発合宿（40名参加）
- ・各事業所の担当者が孤立しない環境作り

「当たり前だった業務」を変えていくマインドが浸透

自社の業革推進事務局のリソース不足を技術サポートパートナーで補いました。

- ・ナレッジの蓄積
- ・管理ツールやガイドラインの構築
- ・教育担当者の育成
- ・全国各地へ出張対応

WinActor展開推進体制の構築に成功

## — WinActor導入・展開の効果 —

12社94事業所 **100名** のシナリオ構築人材

1年で **100本** のシナリオ稼働

**10,000時間** の年間業務時間削減

## 日本紙パルプ商事株式会社様・株式会社JP情報センター様 —AI-OCRを組み合わせたWinActor導入に成功—



日本紙パルプ商事株式会社



- 日本紙パルプ商事様ではOA用紙の輸入処理などの営業事務を軽減するため**AI-OCR\***を導入し、グループ企業のJP情報センター様と現場への展開を進めていました。しかしデータ読み取り後の入出力や後続処理に**手作業が残り、効率化の余地がある**のではと議論されていました。

### 導入企業プロフィール

業種：流通・小売

導入期間：3か月

従業員数：約4000名

導入体制：5名

### 導入企業担当者の声

“ (AI-OCR導入後も) データの入出力や書類作成に手作業が残り「もっと効率化できるのでは」というもどかしさもありました。”

広報室 室長 藤嶋章人様

## — 現状と課題 —

### 業務の属人化

注文の量、商品の種類が増えることで業務は煩雑になり、担当者への属人化が強まっていた。

### 月末の業務集中とミスの発生

月末や特定の時期に業務が集中し、人為的なミスが発生しやすくなっていた。

### AI-OCRの限界

業務プロセスに広く関わる問題のため、AI-OCRの機能だけでは、解決できない問題。

### 人的リソースの制約

人員増は望めないため、AI-OCRと相乗効果の出るテクノロジーを組み合わせた業務改善を模索した。

## — WinActor導入の効果 —

# AI-OCRと組み合わせた業務改善に成功

# 16業務・平均60%の業務時間削減

## — WinActor導入の取り組み —

データ読み取り後の入出力や後続処理を**標準化**

WinActor  
導入前

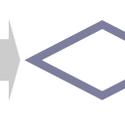
注文書受領

AI-OCR  
読み取り属人化した  
業務プロセスWinActor  
導入後\*

注文書受領

AI-OCR  
読み取り

入力



判断



出力



メール送信

標準化した業務を23ステップに区分し、**4ステップにWinActor**を適用



## クレディセゾン様 一代理店サポートを活用し内製化に成功一

- クレディセゾン様は、クレジットカードの市場拡大に伴い増大する利用者・加盟店の情報登録や更新・変更などの多岐にわたる「**カード処理業務への対応**」と「**働き方改革**」の推進および「**持続的成長の実現**」の3つを同時に行うという課題をお持ちでした。

### 導入企業プロフィール

業種：金融

導入期間：6か月

従業員数：約3200名

導入体制：非公開

### 導入企業担当者の声

“目の前でシナリオを作成してもらい「**自社リソースで運用していける**」という**確信**を得られた。”

業務推進部 RPA推進室 ご担当者様

## 一 現状と課題 一

増え続ける  
カード処理業務

カード利用に伴う業務処理は多岐に渡り、年々処理件数は増加するため、業務負荷が増え続けてしまう。

難しい3つの  
課題の同時解決



上記課題を解決するため検討を重ねた結果、業務の合理化・自動化を目指しRPAを導入することを決定。

## 一 WinActor導入の取り組み 一

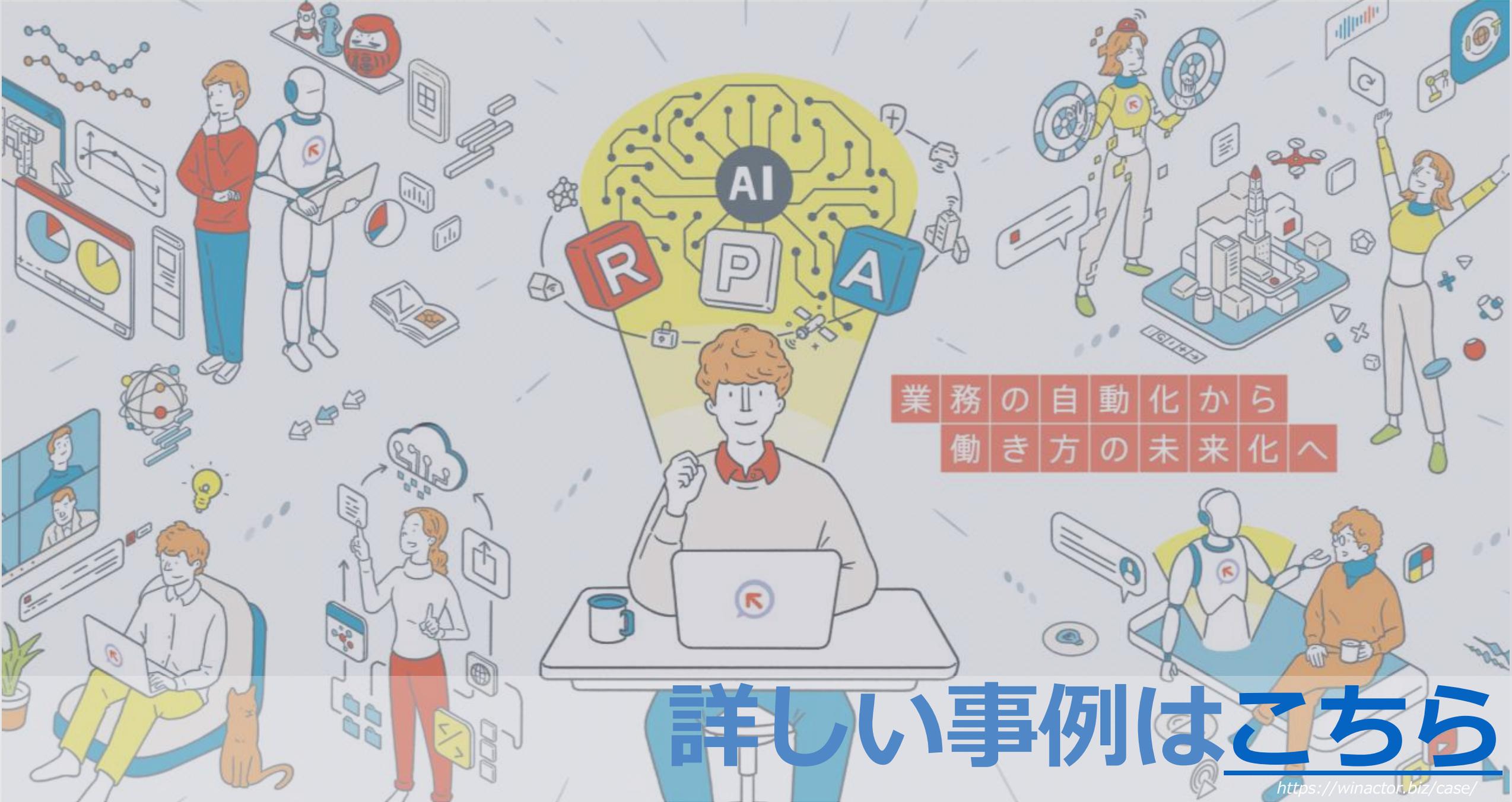


## 一 WinActor導入の効果 一

**約650,000件**の月間作業を自動化

**15,000時間**の月間工数削減

**240本以上**のシナリオ作成

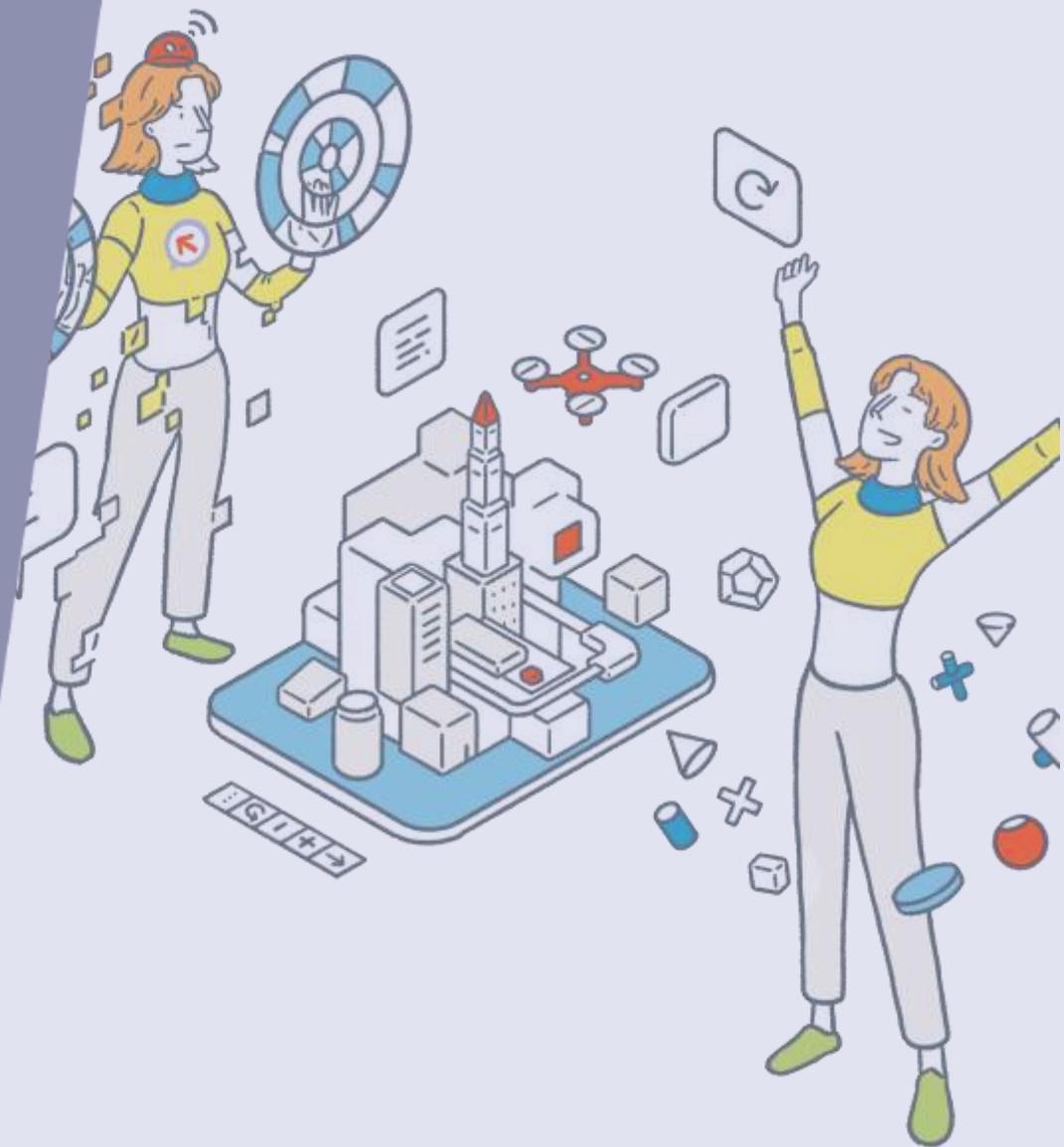


業務の自動化から  
働き方の未来化へ

詳しい事例は [こちら](https://winactor.biz/case/)

<https://winactor.biz/case/>

# 製品ラインナップ



# 製品ラインナップ全体像



- RPAツールのほか、RPA管理ツールをご用意しています。

RPAを、

…作る・動かす



\*フル機能版・実行版・管理実行版

…人の判断を加える



…管理する



「WinDirector」は、株式会社NTTデータの登録商標です

# WinActor機能概要



- WinActorはシナリオの作成と実行を行うRPAツールです。WinActorだけで業務の自動化を完結できるので、1ライセンスからRPA活用を始めることができます。

 WinActor<sup>®</sup>ができること



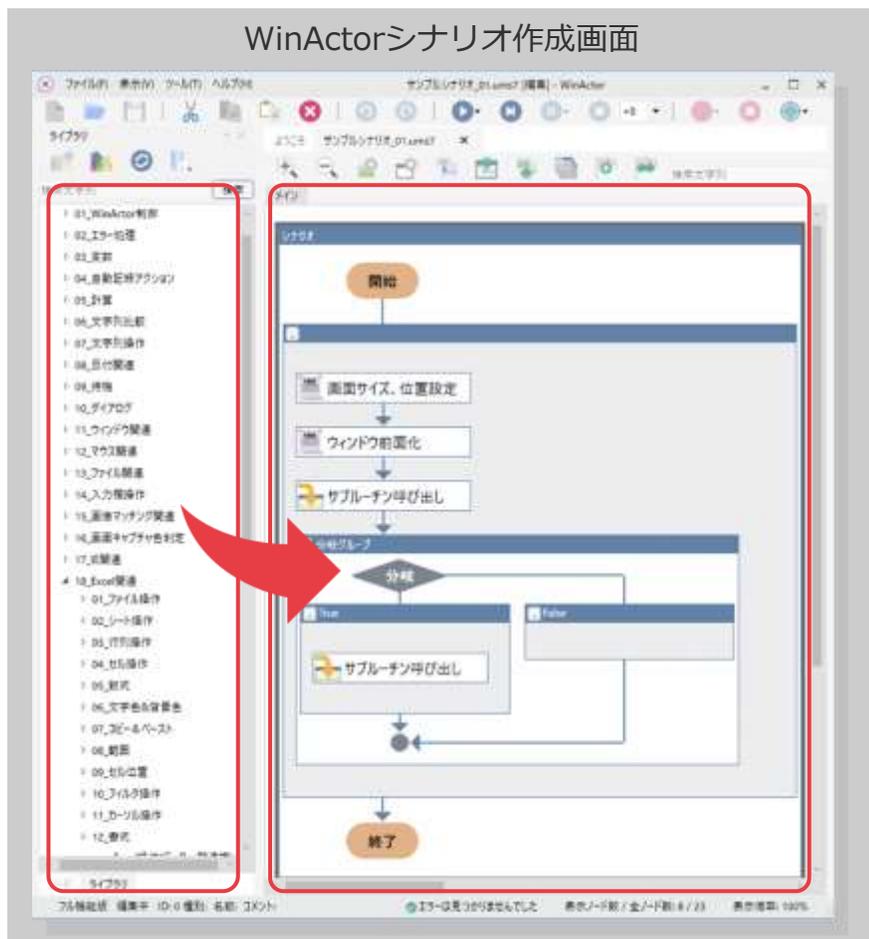
シナリオ作成



シナリオ実行

**1ライセンスからRPA活用が始められる**

- WinActorはシナリオが作成しやすくなるよう工夫を詰め込んでいます。



### ✓ 見やすいシナリオエディタ

作成中のシナリオが大きく表示され、動作の名称や作業の順序、分岐などフローチャート全体が分かりやすく表示されます。

### ✓ 直感的なドラッグ&ドロップ操作

ライブラリをシナリオエディタへドラッグ&ドロップし、順序の指定と設定の調整をするだけでシナリオの作成ができます。

### ✓ 1600種類以上のライブラリ

ユーザーがゼロからシナリオを作る必要はなく、業務でよくある動作をライブラリ（部品）として多く備えています。  
WinActorBrainCloudLibraryで便利なサンプルシナリオやライブラリをいつでも利用できます。

## 誰でも作れる「現場フレンドリー」なRPAツール

# WinActor Brain Cloud Libraryとは



- WinActor製品に同梱のWinActor Brain CloudLibraryでシナリオが作成しやすくなります。

## ✓ 1600種類以上のライブラリ・シナリオが利用可能

業務でよくある動作をライブラリ（部品）として多く備え、検索・ダウンロードが可能です。またそのまま利用可能なシナリオのサンプルも多数提供しています。

## ✓ バージョンアップ・ダウンロード管理

WinActorのバージョンアップやライブラリの更新ができるほか、ダウンロード済みのライブラリを確認できます。

## ✓ レビュー

ライブラリを利用してみて評価・コメントを入れることができます。他のユーザーの評価を閲覧することができます。



すぐ使える部品が探しやすい！利用しやすい！

# WinActor Brain NaRuKami運用サポーターとは



チャットアプリでWinActorを対話的に制御する拡張機能です。

WinActorのシナリオに対話を組み込むことで、ユーザーは**どこにいても**遠隔から作業指示を出せます。

①状況の通知/イベント発生時に指示を仰ぐなど



## WinActor実行しているPCのそばにいなくとも・・・

- ・ シナリオの実行結果を確認
- ・ 人の判断が必要なイベント発生時の処理

## といった対応が可能に！

※対応チャットアプリ(2021年7月現在)

- ・ Slack®
- ・ Microsoft Teams®
- ・ elgana

# RPA管理ツールとは



- RPA管理ツールは、RPAの効率的な運用をサポートするツールです。WinActorが社内に浸透し、WinActor運用の体制・ガバナンスを強化する必要性が出てきた際にご検討ください。



## RPA管理ツールで効率的な運用が可能

## RPA管理ツールのご紹介



- RPA管理ツール、クラウド型の“WinActor Manager on Cloud”とオンプレミス型の“WinDirector powered by NTT-AT”の基本機能をご紹介します。クラウド型・オンプレミス型それぞれ提供方式にあわせてご選択ください。

クラウド型	提供方式	オンプレミス型
WinActor® Manager on Cloud	製品名	<b>WIN DIRECTOR</b> <small>powered by NTT-AT</small>
<b>主な機能</b>		
<b>WinActor管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ WinActor稼働管理</li> <li>✓ シナリオ管理</li> <li>✓ スケジュール管理</li> </ul>	<b>利用情報管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ユーザ管理</li> <li>✓ 所属情報管理</li> <li>✓ 権限ロール管理</li> </ul>	
<b>ライセンス管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ライセンス数管理</li> <li>✓ ライセンスのグループ管理</li> </ul>	<b>外部システム連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ RESTfulAPI連携</li> </ul>	

「WinDirector」は、株式会社NTTデータの登録商標です。



WinActor®はNTTアドバンステクノロジーの登録商標です。

# 參考資料



# 一般的な導入の流れ

- RPA導入の一般的な流れをご紹介します。導入プロジェクトの実施期間はRPAの導入対象とする業務の数やシナリオをどの程度作成するかによって変動します。

## RPA導入プロジェクト

### 計画策定

1. 業務改革/業務改善の目的を定める
2. RPA導入の企画を立案する
3. RPA導入プロジェクト全体の計画を策定する

### 業務分析

1. RPA導入の対象となる業務を選定する
2. RPA導入対象業務フローを可視化する
3. RPA導入後の業務フローを設計する

### PoC

1. PoC計画を策定する
2. 業務自動化ロボット/シナリオを作成する
3. 効果測定し導入展開効果を試算する

### 導入

1. RPA導入計画を策定する
2. 業務自動化ロボット/シナリオを配布する
3. ロボット/シナリオの使い方を教育する

## RPA運用

### 運用

1. ロボット/シナリオ実行
2. 実行結果確認
3. RPA導入効果測定/検証

### 保守改修

1. 実行エラー対応
2. 連携システムのアップデートに伴う対応

### 維持管理

1. RPA仕様書/業務フローなどのメンテナンス
2. 保守改修内容の周知

## 他業務へのRPA導入(展開)を企画

# 導入アプローチごとの特徴（1/2）

- RPA導入のアプローチはトップダウン型とボトムアップ型があり、それぞれメリット・デメリットをご紹介します。

## トップダウン型のメリット・デメリット

<b>投資対効果</b>	<p>○導入当初より投資対効果を意識して進めるため、投資対効果の評価が行いやすい。</p>	<b>組織横断</b>	<p>○経営企画、IT部門、現場でプロジェクトチームを作り、組織内の様々な見識をあわせた推進がしやすい。</p>
<b>開発コスト</b>	<p>×RPA開発専門のチームがない場合、外部のリソースが必要となり開発コストがかかりやすい。 ×大規模な導入になりやすく、業務ヒアリング等のコミュニケーションコストが大きい。</p>	<b>現場感</b>	<p>×開発時に現場の意見が取り入れられないことがあり現場との認識にギャップが生じることがある。 ×導入時に現場からの反発が起きることがある。</p>
<b>スピード感</b>	<p>×プロジェクト開始当初はなかなかゴールイメージが湧かず、モチベーションが高まりづらいため、導入スピードは遅くなりがちとなる。</p>	<b>人材育成</b>	<p>○RPAの専任チーム・専任担当者を決めやすい。 ○社員をRPA開発ができる人材に育てようとすることが多く、RPA開発スキル習得時間の確保に理解が得やすい。</p>
<b>運用・管理</b>	<p>○開発ルールに基づいた均質なシナリオを作成できるため、管理しやすい。</p>	<b>展開・浸透</b>	<p>○各部署で担当を決めて取り組むことが多く、組織の展開、浸透が進みやすい。 ○組織全体で見たときに注力すべき領域を経営判断できる。</p>

# 導入アプローチごとの特徴 (2/2)

- RPA導入のアプローチはトップダウン型とボトムアップ型があり、それぞれメリット・デメリットをご紹介します。

## ボトムアップ型のメリット・デメリット

投資対効果	×小規模導入となりやすいため大きな投資対効果を出しづらく、取り組みを評価されづらい。	組織横断	×RPA導入部署に留まった活動になりやすい。
開発コスト	○現場主体でシナリオ作成を進めることが多く、シナリオ数も多くないため開発コストは限定的であることが多い。	現場感	○RPA導入を現場のニーズや多様性を取り入れながら進めやすい。
スピード感	○現場担当者は業務プロセスに精通しているため、WinActor導入・シナリオ作成をスムーズに進めやすい。	人材育成	○現場担当者とRPA開発者が一致しRPAスキルの習得が早いことがある。 ×RPAスキルが属人化しやすい。
運用・管理	×シナリオ作成担当者によってシナリオの品質にばらつきがあり、管理コストが大きくなりやすい。	展開・浸透	×全体で見たときに大きく効率化されるべき業務がRPA適用業務に選ばれないことが多い。 ×展開するために関連部署との細かな調整が必要となりやすい。

# WinActorのビジュアルについて

## ● 業務の自動化から働き方の未来化へ

WinActorキービジュアルは、RPA「WinActor」を中心に、人とロボット(RPA)が協力しながら働いている様子を表しています。これはWinActorが目指す自動化の世界。

人とロボットとが協働し、AIなどの高度な技術を組み合わせることで人の仕事は、よりクリエイティブに、よりスピーディーに進化します。そして、社会全体もサプライチェーンのDXや自動化が広がっていきます。すぐそこにある働き方の未来化、それは誰もがクリエイティブに力を発揮し、働くことがワクワクできる世界です。

